



やさしさ・思いやり・ありがとう



日ごとに日照時間も伸び、校庭にある梅の花が咲いたり桜のつぼみがふっくらとしてきたりして暖かさを感じるようになりました。

いよいよ3月、今年度のまとめの時期を迎えました。6年生にとっては小学校生活を締めくくる大きな節目であります。この1年間、6年生は、みんなで協力しながら全校の先頭に立って、一つひとつの行事を頑張ってきました。最上級生として活躍する姿には、自信と誇りが見られ、それは今まで頑張ってきた成長の証です。

1年生から5年生も、学年にふさわしい成長の姿を見せてくれ、たいへん頼もしく感じています。この1年間を振り返り、自分の成長に自信を持つとともに、次の学年に向けてしっかりと目標を持ってほしいと思っています。

先日、和歌山東高校1年A組のみなさんと2年生が楽しく交流していただきました。コロナ禍の折、来校してくれた高校生は、4名。あとのみなさんと、1年A組の教室からリモートでの交流となりました。手作りの「バスがきましたよ」の大型絵本を使って読み語りをしてくださいました。大型絵本と言っても、写真にあるようにすごく大きい絵本です。この絵本の内容は、目の病気から全盲になった和歌山市職員の山崎浩敬さんが、地元の小学生に助けられながら長年バス通勤を続けている実話をもとにした絵本です。この日は、山崎さんも特別に来校してくださいました。高校生のみなさんは、2年生にも分かるようにと一生懸命に読んでくれました。



その読み語りを聞きながら、以前広告にもあった言葉を思い出しました。

「心は誰にも見えない。けれど心遣いは見える。思いは誰にも見えない。けれど思いやりは見える。」子ども達は、色々なことを体験し、たくさんのことを学んでいきます。今回の交流を通して、子どもたちは、①人の気持ちを考える大切さ②人の優しさを感じる心③ありがとうと思う心の大切さをしっかり感じてくれたことと思います。さらに思いやりのある優しい学校をめざし、この学校で過ごすことができ良かったという思いを子どもたち一人ひとりが少しでも実感できるように、進学・進級に向けて指導・支援していきます。

最後になりましたが、子ども達の元気な学校生活を家庭で支えてくださった保護者のみなさま、登下校をはじめ、子ども達の安全を見守ってくださったみなさま、学校の諸活動にご理解とご協力をいただきました関係者のみなさま方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。次年度も、皆様のご理解とご協力、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

の行事予定

3月

1日(水)あいさつ運動
いじめなくそうデー

2日(木)登校指導
ひまわり参観

4日(土)うちどくの日

6日(月)卒業式練習開始
委員会活動(卒業式準備用)
郵便局見学 1年

7日(火)スクールカウンセラー来校

10日(金)給食セレクトデザート

15日(水)安全点検

16日(木)登校指導

17日(金)お別れ式
6年給食終了
卒業式準備

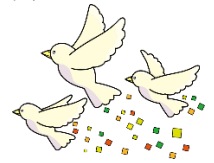
20日(月)卒業式(1・2・3年は休業)

21日(火)春分の日

23日(木)給食終了

24日(金)3学期終業式

31日(金)離任式



【4月初めの予定】

4月10日(月)新任式・始業式

11日(火)入学式

12日(水)2~6年給食開始

歯科検診 4/20(木)

内科検診 4/27(木)

眼科検診 5/11(木)

耳鼻科検診 5/9(火)1・3・5年のみ



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況の変化によって、各行事が変更・中止になる可能性があります。

なお、授業参観、懇談会、家庭訪問等、4月以降の行事につきましては、未定のため、決まり次第お知らせさせていただきます。ご了承ください。

2月6日、トルコ南東部とシリアで発生した大きな地震の被災者は3千万人にも上り、住む場所と生活必需品不足で苦痛を味わっているとのこと。一日も早い復旧・復興が待たれます。

大きな地震というと、日本では地震雲の話が出てきます。今回も大地震発生前にトルコ北西部で目撃されたという“奇怪な雲”について報じた記事が出回りました。しかし、気象学者の方によると、一般に地震雲といわれるものはすべて気象学から説明できるものだそうです。そもそも雲が地下からの影響を受けているかどうかは見分けられず、雲の見た目から地震の影響等を判断するのは不可能です。地震だからといって、地震を予兆するような雲は出ない、ということです。

では、なぜこのような誤った情報が流れるのでしょうか？

災害時、私たちは冷静な状態ではありたいと思いつつも、不安や情報を得たいという焦りから感情的になりやすくなっています。得られた情報が自分や自分の近い人に影響があるものならなおさら焦ります。安心したい、大変な状況をなんとかしたい、そんな気持ちが誤った情報を他の人に伝えてしまうことにつながりやすくなります。そんなときこそ、一歩立ち止まって知り得た情報の真偽を気にかけてください。誰が出した情報で、元の発信者はだれか、科学的な根拠となるデータ等があるか、それに関する論文があるか等、確認することで、自分が誤った情報を信じること・広めることは防げます。

地震対策においては、備えが一番大切です。日本では毎日どこかでマグニチュード4以下の地震が発生しているのです。まずは身の回りから備えていきましょう。

